

会 議 録 要 旨

(1) 会議の名称	第 2 回 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成 2 6 年 1 1 月 2 5 日（火曜日）午後 7 時～9 時 1 5 分
(3) 開催場所	市役所別館 2 階 大会議室
(4) 出席委員氏名 (5 0 音順)	桶谷委員、川上委員、河崎委員、河野委員、笹川委員、飯田委員、富田委員、 中桐委員、南保委員、平井委員、平戸委員、福岡委員、山田委員
(5) 欠席委員氏名 (5 0 音順)	河瀬委員、清水委員
(6) 会議議題	南越駅における基本テーマ等の検討 駅前広場及び駐車場の配置パターンの検討 他
(7) 傍聴者の数	1 3 人
(8) 会議資料名称	北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第 2 回資料【本編】 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第 2 回資料【参考資料】
(9) 会議の内容の 要旨	・ 丹南地域全体でどう来訪者を呼び込むかという戦略を考える上で、南越駅の開業は非常に良い機会である。この機会に地域資源をどう活かすかを位置づけることができれば、開業後、必然的に利用が増えるのではないかと。 ・ 南越駅をどうするかを考えるということは、丹南地域全体をどう繋ぐか。繋ぐことで地域の総体的なポテンシャルをどう引き上げ、地域を活性化させるか。そのきっかけとして位置づけられるのではないかと。 ・ 事例や人口減少等社会情勢を踏まえると、駅周辺自体が誘客を図るのは、難しいと考えられる。地域にある多くの伝統産業関連施設や農業等を活かし、周辺市町の施設への来訪を促す起点となる観光案内機能を担うことが望ましい。 ・ この地域は、伝統産業がたくさん集積する優位性を備えている。その優位性を高める機能を南越駅が備え、地域の産業力強化を担うという位置づけはどうか。大きな将来像を描くよりも、現実的な駅の方が、機能するのではないかと。 ・ 第 1 次算定に検討した機能により見込まれる予測や季節のピーク率等を加味して、第 2 次算定を行う。 ・ 越前市らしさや丹南地域全体の P R、それぞれの地域の活性化に向けた駅利用者の拡大に向け、導入機能、施設について今後より具体的な検討が必要である。 ・ 整備予定場所の用水や土地（稲の種子の種場）の状況を踏まえ、開発規模、位置等方針について早期に示す必要がある。 ・ 駅前広場及び駐車場の配置パターンについては、東側か西側どちらかに寄せるのは、レイアウトが考えやすく、パターン③が色々と検討しやすい。
(10) その他	次回日程は 1 月下旬～2 月上旬予定。日程は決まり次第改めて連絡。